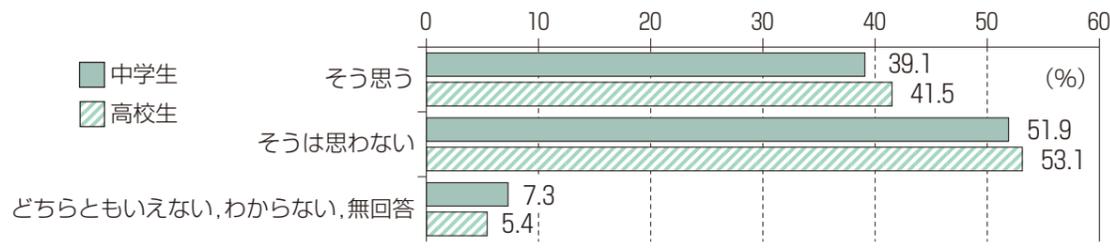


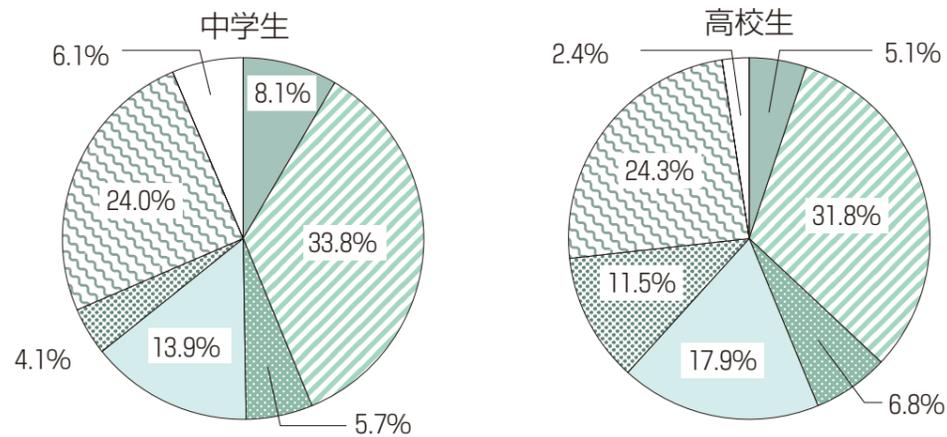
「生きる」

早く大人になりたいか



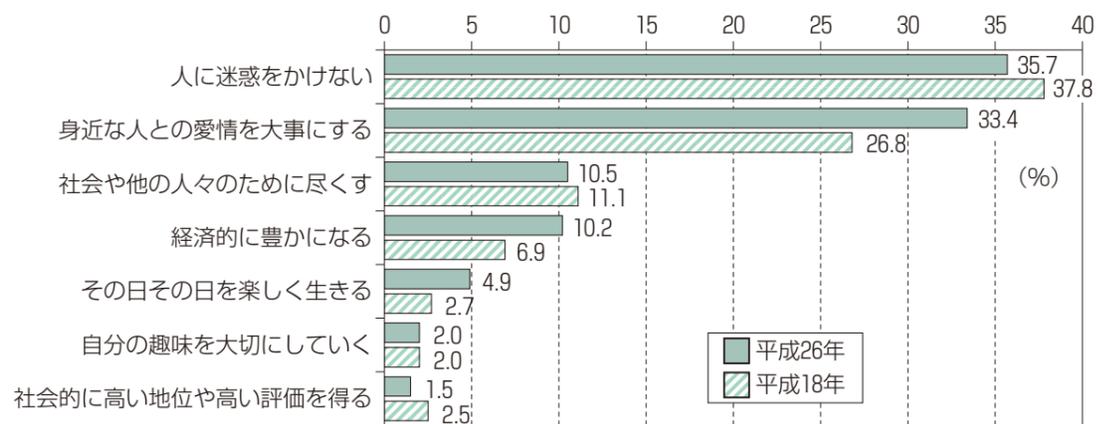
「そうは思わない」の回答者の早く大人になりたくない理由

- 大人になると働かなくてはいけないから
- 子どもでいるほうが楽だから
- 大人になっても、特にやりたいこともないし夢もないから
- 大人になって、仕事や家のことをちゃんとやっていける自信がないから
- 周りの大人を見てみると、ずるいや自分勝手な人が多いから
- 大人になることが何となく不安だから
- わからない、無回答



資料：NHK 放送文化研究所「中学生・高校生の生活と意識調査・2012」（平成24年）

子どもに希望する生き方（最も重視するもの 対象：小中学生の親）



資料：内閣府「小学生・中学生の意識に関する調査」（平成26年）

エピソード

9月のはじめ、校庭のベンチに腰をおろしたタダシとミナヨは、まだ進路を決めることができないでいます。

タダシ：「この前の模試どうだった？」

ミナヨ：「まあまあかなあ。」

ふたりともこの前の模試の成績が気になるようです。

そこへクラスメートの明夫が通りかかりました。

明夫も進路をはっきりとは決めていませんが、けっこうのんびりしているようです。高校には行きたいと思っているようですが、勉強よりもアルバイトに力をいれるつもりでいます。

明夫：「おい、二人とも元気ないじゃないか。」

タダシ：「そろそろ、進路を決めないとダメだろ。はやく決めろって、毎日親がうるさいんだよ。お前のところは何も言わないのか。」

言わしとけばいいんだよ、と明夫は思います。しっかり勉強して大学をでたところで、朝早くから疲れた顔で家を出て行く父親をみていると、とてもおもしろそうには思えません。

それにくらべると、近くのスーパーでアルバイトしている先輩のマサルは、朝もゆっくりだし、毎日が楽しそうにみえます。

ある日、明夫はスーツ姿のマサルに会いました。

明夫：「今日はお休みですか」

マサル：「ちょっとね。」

と答えただけで、そのまま行ってしまいました。店の人の話では、新しい就職先を探しているらしいとのこと。

店の人：「子どもができたらしいよ。」

あいつももうすぐパパだから、いろいろ考えないといけないだろう。」

放課後、ベンチにすわっているタダシとミナヨの前を明夫が通りかかります。今日は明夫もちょっと考えこんでいるようです。

タダシ・ミナヨ：「明夫、元気ないじゃないか。」

明夫：「いや、べつに…。」



